

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	社会調査法（Social Research Method） 393122-14400					担当教員	石川英樹 （イシカワ ヒデキ）		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL／資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
社会調査に関する実践的な知識を養い、調査を行うことによる社会現象が現状把握と問題点を考え、データ分析を習得することを目的とする。社会調査の企画・設計ができるようになることを目指す。社会調査とは何か、その意義・手法、具体的な調査票の作成、集計、データ解析の基本を学修する。社会福祉主事任用資格に対応した科目である。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／情報収集・分析力を養う。									
③ 授業の進め方・指示事項									
配布資料に基づき、追加的事項を補足しながら授業を進める。小レポートや小テストを実施して、フィードバックを行う。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「社会調査法演習」「コンピュータリテラシー1」「コンピュータリテラシー2」「表計算ソフト利用技術」「プレゼンテーションソフト利用技術」									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 社会調査の意義を理解し説明できる。 (ii) 社会調査方法を理解し説明できる。 (iii) アンケート調査の種類を理解し説明できる。 (iv) アンケート調査の項目や順序・回答のタイプを理解し説明できる。 (v) 初歩的なデータ解析ができる。									
⑥ テキスト（教科書）									
テキストは使用しない。授業時間中に資料を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
安藤明之(2013)『初めてでもできる社会調査・アンケート調査とデータ解析[第2版]』日本評論社 その他、随時授業中に紹介する。									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計	

総合評価割合	50%	20%	20%		10%			100%
(i) 社会調査の意義	10%	5%	5%		2%			22%
(ii) 社会調査方法	10%	5%	5%		2%			22%
(iii) アンケート調査の種類	10%	10%	5%		2%			27%
(iv) アンケート調査の項目や順序・回答のタイプ	10%		5%		2%			17%
(v) 初歩的なデータ解析	10%				2%			12%
フィードバックの方法	小レポートはプレゼンテーションを行い、小テストは解説を行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）

演習的な内容も含んで、具体的な知識・技術の習得につながる授業を進めたい。積み上げていく部分が多いので、欠席は厳禁。

⑩ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	社会調査とは	筆記用具	社会調査の実施の必要性や対象者を理解	60分
2	社会調査の種類	筆記用具	配布資料で社会調査の種類を理解・振り返り	60分
3	社会調査の技法	筆記用具	配布資料で社会調査の方法を理解・振り返り	60分
4	量的調査方法	筆記用具	配布資料でアンケート調査方法を理解・振り返り	60分
5	質的調査方法	筆記用具	配布資料で面接調査・参与観察などを理解・振り返り	60分
6	調査の企画	筆記用具	配布資料でアンケート調査の種類を理解・振り返り、調査内容について検討	90分
7	調査の手順(1)～面接調査・理解留め置き調査	筆記用具	配布資料で面接調査・理解留め置き調査を理解・振り返り	60分
8	調査の手順(2)～インターネット調査	筆記用具、必要に応じてUSBフラッシュメモリ	配布資料でインターネット調査を理解・振り返り、その事例を調べる	90分
9	調査における倫理と個人情報保護	筆記用具	配布資料で個人情報保護を理解・振り返り	60分

10	サンプリングの方法	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	配布資料でサンプリングの方法を振り返り、サンプリングの試行	90分
11	調査票の作成(1)～調査項目の設定	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	アンケート項目を設定について検討する	90分
12	調査票の作成(2)～設問内容の検討	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	質問量や回答タイプの設定を検討する	90分
13	データの整理(1)～単純集計とクロス集計	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	配布資料で単純集計とクロス集計を理解・振り返り、その試行	90分
14	データの整理(2)	筆記用具、必要に応じて USB フラッシュメモリ	配布資料で多変量解析を理解、振り返り	60分
15	まとめ	筆記用具	配布資料で社会調査データの活用方法を理解・振り返り	60分

#### ⑪ アクティブラーニングについて

知識定着・確認型 AL を採用する。小レポートの内容をもとに、各自が発表してもらい、そのレポートの評価・考察を行い、学修内容をフィードバックする。小テストを行い知識の定着を図る。

※以下は該当者のみ記載する。

#### ⑫ 実務経験のある教員による授業科目

##### 実務経験の概要

平成 4 (1992) 年 6 月～平成 16 (2004) 年 3 月に(財)国民経済研究協会に在籍し、企業環境研究センター、経済産業研究部の研究員として、官公庁等からの委託調査や自主調査を数多く手がけ、アンケートや統計調査の報告書作成や発表に取り組んだ。

##### 実務経験と授業科目との関連性

社会調査に関する数多くの実務経験を通じて培ってきた知識・技術等を最大限に活用して、アンケート調査等の手法を指導して、履修生による社会調査法の学修に貢献したい。